

イベントレポート

第4回 IPA 圧入工学セミナー in 高知 2017

更新日 2012.3.28



開催日時： 2012年3月27日(火) 15:00-17:15
 場所： 東京都港区
 会場： [IPC\(国際圧入センター\)](#)会議室
 主催： IPA研究委員会
 プログラム： 講演1『杭の軸方向抵抗力の推定法に関する課題』
 講師： 独立行政法人港湾空港技術研究所 特別研究官 菊池喜昭 (IPA研究委員会委員)
 講演2『地中構造物、多層地盤と杭圧入の相互作用に関する研究』
 講師： [東京大学 工学部社会基盤学科 准教授 内村太郎](#) (第3回IPA研究助成賞受賞者)
 講演3『最近のIPAの活動について - 第4回国際ワークショップ等 -』
 講師： IPA事務局長 奥村忠彦
 参加者数： 57名

3月27日(火)、第4回目の圧入工学セミナーを東京都港区のIPC (国際圧入センター)に2名の講師を迎え開催しました。

当学会研究委員会委員の菊池講師からは、港湾工事における杭の支持力推定法の現状と課題、また災害に強い港湾構造物の構築に向けた新たな設計法の必要性和その方向性について、さまざまな視点や実験データをもとに発表がありました。

また、第3回IPA研究助成賞の受賞者である内村講師からは、受賞研究テーマである地中構造物(地中壁や埋設管)と圧入杭の相互作用に関する研究成果について、実験データの解析結果と今後の課題についての発表がありました。

最後に事務局長の奥村より、第4回IPA研究助成賞について、推奨テーマの解説や公募から授賞式に至るまでの一連のスケジュール、また、本年12月にシンガポールで開催される第4回IPA国際ワークショップの会場やプログラムに関する最新情報が発表されました。

なお、次回の工学セミナーは7月に高知市での開催を予定しております。詳細が決まりましたら、本サイトにてお知らせいたします。



菊池喜昭氏 (港湾空港技術研究所)



内村太郎准教授 (東京大学)



奥村忠彦氏 (IPA事務局長)